



# JPI催しのご案内

**2025**  
**4**

公益社団法人日本包装技術協会

**— 2025年度の本催しについて —**2025年度につきましても引き続きウェビナー（WEBセミナー）で  
皆様に情報発信をさせていただきます。**●開催要領****日時** ①令和7年4月15日(火) 14:00～16:00  
②令和7年4月17日(木) 14:00～15:30**参加費** JPI法人・個人会員：無料／一般：11,000円(1部会、税込) **定員** 300名**①令和7年4月15日(火) 14:00～16:00****JPI本部主催****【テーマ】パッケージ印刷の色品質を数値により見える化！管理ツールのご紹介**

パッケージ印刷の品質、特に色の品質に関しては、ほとんどの現場で視覚による評価方法が採用されています。視覚によるビジュアル評価は簡便で誰でもどこでも実施でき、わかりやすい判断のため、発注側とサプライヤー側のコミュニケーションに使用されています。しかし、視覚による色評価には意外な落とし穴や、安定した評価基準の欠落、トライ＆エラーによる非効率な修正作業、継続的な改善の方向性が見えにくいといったデメリットが伴います。

本WEBセミナーでは、色に関する明確な品質基準の設定と許容範囲の設定により、印刷の品質を数値化する方法を解説するとともに、測定値をベースとした印刷品質の数値化により継続的に印刷物の品質をモニタリング、修正の方向性をガイドするツールをご紹介します。測定により、印刷品質を簡単なスコアとして見える化し、モニタリングすることで、現在の品質の立ち位置を把握することが改善のための重要なポイントになります。目視評価における問題点を補足し、明確なターゲットを設定し、印刷品質に対する継続的な改善の方向性をもたらすワークフローをご提案します。

**【講師】** エックスライト社 セールスマーケティング部 アプリケーションエンジニア**岡松英二氏****申込要領**

- ◆お申込は当会ホームページより、先着順とさせていただきます。
- ◆お申込みが定員に達した場合、一社における参加人数に制限を持たせて頂く場合があります。
- ◆お申し込みは、JPIWEBフォーラム開催3日前までをお願いします。

**個人情報の取扱いについて**

- 1) 個人情報は「公益社団法人日本包装技術協会 JPIWEBフォーラム」の事業実施に関する資料等の作成、ならびに当会が主催・実施する各事業におけるサービス提供や事業のご案内等のために利用させていただきます。
- 2) 参加申込によりご提供頂いた個人情報は、法令に基づく場合等を除き、個人情報を第三者に開示、提供することはありません。

**参加申し込み方法と注意事項**

- ・本催しはwebを使用したオンライン講演会（ウェビナー）です。お申し込みは、当会ホームページのJPIWEBフォーラム参加申込ページよりお願い致します。申込者にはウェビナー開催の2日前頃に招待メールをお送りします。**メールアドレスの入力を間違えてしまうと登録できずメールを送付できません**のでご注意ください。
- ・招待メールにて**参加用URL、参加方法、参加までの手順、注意事項**をお知らせしますので、ご確認の上参加の準備を進めて下さい。  
※**ご利用のメールアドレスの環境・設定によっては迷惑メールに振り分けられる場合がございますので、ご注意ください。**
- ・申込者1名のみ本催しに参加できます。1つのメールアドレスで1名しか参加できません。
- ・その他注意事項などにつきましては当会ホームページ上よりご確認の上、参加登録をお願い致します。

**当会ホームページ URL : <https://www.jpi.or.jp/>****◆お問い合わせ及び各種催しの申し込み先◆**〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F  
公益社団法人日本包装技術協会 担当：坂本 TEL.03-3543-1189 FAX.03-3543-8970  
●JPI催しのご案内はインターネットでも公開中です。 URL <https://www.jpi.or.jp/>**JAPAN PACKAGING INSTITUTE****◆裏面にもウェビナーのご案内がございます◆**

② 令和7年4月17日(木) 14:00~15:30

JPI本部主催

## 【テーマ】積層段ボール緩衝材の設計法

環境意識の高まりに伴い、紙製緩衝材に取り組む企業が増えてきています。しかし、紙製緩衝材の設計はトライアンドエラーや個々の技術者の経験に依存していることが多く、開発や問題発生時の解決に時間が掛かっていませんか？今回は積層段ボール緩衝材の特性を分析し、その結果に基づいて理論的に設計できる方法を検討した内容について紹介いたします。

【講師】セイコーエプソン株式会社 P商業・産業企画設計部

一宮祐太氏

# JAPAN PACKAGING CONTEST 2025 THE 47th

## 出展作品募集のご案内



## 2025日本パッケージングコンテスト

主催  公益社団法人日本包装技術協会(第47回)

後援  
(申請予定)

経済産業省、日本商工会議所、日本貿易振興機構(ジェトロ)、  
公益財団法人日本生産性本部、公益社団法人日本パッケージデザイン協会、  
公益社団法人日本マーケティング協会、公益社団法人日本グラフィックデザイン協会、  
公益財団法人共用品推進機構、世界包装機構、アジア包装連盟

### 6大特色

#### 1. 優秀の目印はGPマークで GOOD PACKAGING

本コンテストは、日本のパッケージ技術の最高水準を決定するものです。材料、設計、技術、適正包装、環境対応、デザイン、輸送包装、ロジスティクス、販売促進、アイデア等あらゆる機能からみて年間の優秀作品(グッドパッケージング賞)を選定するもので、最高賞のジャパンスター賞をはじめ入賞作品にはすべて優秀の証として、GPマークの使用が認められます。

#### 2. 最優秀作品に 経済産業大臣賞を授与(交付予定)

入賞作品のうち、最優秀作品には経済産業大臣賞(交付予定)が授与される他、脱炭素成長型経済構造移行推進審議官賞(交付予定)や経済産業省製造産業局長賞(交付予定)等が優秀作品に授与され、本年度の最優秀パッケージとして国内外に広く紹介されます。

#### 3. パッケージデザインからロジスティクスまで

本コンテストは、個装から外装まで、すなわち生活者包装、輸送包装等、包装の全てを網羅しています。「デザインからロジスティクスまで」これは本コンテストの最大の特色です。

#### 4. 環境問題・CO<sub>2</sub>削減に対応した適正包装の 特に優れた実例を!

環境問題、生活者のための包装を意図し、機能を満たし、かつ包装の容積、重量、コストを軽減すると共に省資源化、省力化の要請に応じた商品別適正包装の実例で特に優れたもの、改善努力の著しいもの、また、これらの条件に加えて、輸送の分野においては、物的流通の近代化に寄与するためのシステム志向も重視されます。

#### 5. 入賞作品を一般公開

入賞作品は、10月に開催予定の展示会「暮らしの包装商品展2025」特設コーナーの“2025グッドパッケージング展”への出品資格が与えられ、一般公開されます。また、海外展示会の特設コーナーでの展示も可能となります。

#### 6. 世界の檜舞台へ“ワールドスターコンテスト”

日本パッケージングコンテストに入賞した作品は、ワールドスターコンテスト(毎年開催、主催:世界包装機構)アジアスター(毎年開催、主催:アジア包装連盟)への出品資格が与えられ、ワールドスターを目指して世界各国からの作品と競い合います。

詳細は弊会ホームページをご覧ください。